

様式第1号

兵庫県福祉サービス第三者評価の結果

(別紙)

第三者評価結果

※すべての評価細目について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
①	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	Ⓐ・b・c
〈コメント〉理念・基本方針はパンフレット、保育園のしおり、フェイスブック等に記載されている。人間の尊厳を大切にしたい理念のもと、0歳児から5歳児までテーマに沿って一貫した保育を目指している。職員には職員会議で理念・保育方針について周知を図り、入園希望者には入園説明会で説明し周知を図っている。		

I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
②	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	Ⓐ・b・c
〈コメント〉伊丹市役所の保育課を訪ね、待機児童の確認を行ったり、利用者の推移を分析したりしている。保育協会や市の施設長研修会に参加し、保育事業の動向や地域のニーズ等の把握と分析に努めている。		
③	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	Ⓐ・b・c
〈コメント〉理事会で経営状況や経営課題について話し合い、それらを明確にしている。職員にも周知し、改善に向けて具体的に取り組んでいる。保育内容については職員会議で話し合い、課題を明確にし、保育の質の向上に努めている。		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
④	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a・b・Ⓒ
〈コメント〉開園されてからまだ日が浅いため、単年度計画は策定されているが、中・長期計画は策定されていない。今年度からその準備に取り掛かっている。		
⑤	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・Ⓑ・c
〈コメント〉本年度の各クラスの保育方針・保育計画・年間行事計画等は作成されている。異年齢		

<p>の子供たちでグループやクラスを作って行われるたてわり保育や裸足保育を実践している。</p>	
<p>I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。</p>	
6	<p>I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。</p>
<p>〈コメント〉年度当初の職員会議で事業計画が説明され職員に周知されている。年度途中の職員会議や研修会で計画の進捗状況を把握し、見直しを行っている。年度末には1年間を振り返り評価を行っている。</p>	
7	<p>I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。</p>
<p>〈コメント〉事業計画の主な内容は、年度初めの全体懇談会やクラス懇談会で説明し周知を図っている。また保育園のしおり「ASOKANOKI」には年間行事予定や1日のタイムスケジュールも掲載されている。</p>	

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
<p>I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。</p>		
8	<p>I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。</p>	a・b・c
9	<p>I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。</p>	a・b・c
<p>〈コメント〉園長が個々の保育士と面談し、評価した結果を理事長に報告している。評価結果を分析した結果やそれに基づく課題を文書化し、職員間での共有化を図るとともに明確になった課題に対して改善策や改善実施計画を策定することを期待したい。</p>		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
<p>Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。</p>		
10	<p>Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。</p>	a・b・c
<p>〈コメント〉重要事項説明書、職務分掌、組織図で施設長の役割と責任を明文化し、年度当初の職員会議で説明している。園長不在の時の代行は副園長とすると定められている。</p>		
11	<p>Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。</p>	a・b・c
<p>〈コメント〉園長は各種法令を理解し、自ら遵守するだけでなく職員にも順守するよう取り組んでいる。私保連や全国社会福祉法人協議会、県保育協会の施設長研修に参加している。職員会議や研修会で職員に報告し周知徹底を図っている。</p>		

II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	II-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a・㉑・c
<p>〈コメント〉</p> <p>園長自らが私保連や市・県保育協会の研修会に参加している。園の全体会議で保育方針や内容について話し合ったり、行事計画の見直し、日案の点検を行ったりして保育の質の向上に努めている。各種会議や個人面談で職員の意見を把握し、それらの意見や提案は職員会議や研修会で改めて協議し改善に努めている。</p>		
13	II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a・㉑・c
<p>〈コメント〉職員の意見や提案をアンケートで採り、理事会に提案している。パート職員の配置のより休憩時間・事務処理時間・有給取得等の確保に取り組み、働きやすい環境づくりに取り組んでいる。しかし、その努力は道半ばである。</p>		

II-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a・㉑・c
<p>〈コメント〉</p> <p>人材確保については、日々努力しているが確保につながっていない。大学や養成校での説明会・求人広告・ハローワーク・人材派遣会社等で採用活動を実施している。人材の定着については、クラス会議、乳児会議で話し合ったり、副主任が相談に応じたりしている。</p>		
15	II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a・㉑・c
<p>〈コメント〉</p> <p>法人の理念・教育方針に「期待する職員像」を明確にしている。評価として人事考課制度を導入している。昇任・昇格を含め職員一人一人が将来をイメージできるような仕組みづくりを行っている。キャリアパス、職員配置、ローテーション等に関する基準を明確にし、承認、給与基準、福利厚生等の労働条件も整備されている。</p>		
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a・㉑・c
<p>〈コメント〉</p> <p>労務管理については園長、事務長が中心なり管理を行っている。労務管理に関する責任体制は職務分掌で明確にしている。職員の健康と安全の確保のため年1回の健康診断を実施し相談窓口を設けている。職員の就業状況や意向・意見を把握するだけでなくその結果を分析・検討し、改善に向けた取り組みをすることが望まれる。</p>		
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a・㉑・c

<p>〈コメント〉理念・基本方針をはじめとする園の全体方針は示されている。職員にも説明されている。園長は毎年2回以上職員との面談を行い、意見・意向を聞き、各職員に目標を設定してもらっている。目標項目、目標水準、目標期限等が明確にされた形式を整え、職員一人一人が設定した目標について途中の進捗状況、年度末の達成状況等を確認することが望まれる。</p>		
18	<p>Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。</p>	(a)・b・c
<p>〈コメント〉保育園の基本方針や計画の中に職員に必要とされる専門技術や専門資格が明示されている。年間研修計画が策定され、研修内容、役割分担等が明示されている。また、定期的に研修内容やカリキュラムの見直しを行っている。外部研修については受講者が研修報告書を作成し、職員会議や研修会で全職員に報告している。</p>		
19	<p>Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。</p>	a・(b)・c
<p>〈コメント〉今年度の研修計画にもとづき、新任職員研修、中堅職員研修、事務員研修、栄養士・調理師研修と職種・経歴等によって研修の機会を設けている。園内研修では、専門知識の向上を図り知識・情報の共有を図るように努めている。外部研修では、研修計画にもとづき受講者を派遣している。</p>		
<p>Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。</p>		
20	<p>Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。</p>	a・(b)・c
<p>〈コメント〉実習生の希望があれば受け入れているが、積極的な受け入れ体制は確立されていない。実習生の受け入れから研修・育成までに関するマニュアルやカリキュラム等を作成する体制づくりから取り組むことが望まれる。</p>		

Ⅱ－３ 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a・(b)・c
〈コメント〉第三者評価は受診していない。保護者からの苦情に対して相手が納得する様な説明がなされていない		
22	Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a・(b)・c
〈コメント〉開園してからまだ日が浅いため外部監査の活用迄至っていない。		

Ⅱ－４ 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	Ⅱ-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a・(b)・c
〈コメント〉地域の社会資源を正確に把握し、子供の社会体験の場を広げる事が望ましい。		
24	Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・(b)・c
〈コメント〉ボランティアの受け入れや学校の地域との連携は行っているが、それらに対する基本姿勢やマニュアルが明文化されていない。		
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	(a)・b・c
〈コメント〉必要な社会資源を明示し、各関係機関と連携し、定期的に連絡会を開いている。		
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 保育所が有する機能を地域に還元している。	a・(b)・c
〈コメント〉庭園開放だけでなく、何が地域に貢献出来るかを考え実行する事が望まれる。		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・(b)・c
〈コメント〉地域の福祉ニーズを把握する事が十分に行われていない。		

### 評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

#### Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a・(b)・c
〈コメント〉子供の尊重について職員全員が共通の認識を持つ様に研修を行っているが現状把握と対策が不十分である		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	(a)・b・c
〈コメント〉子供のプライバシーを大切にしたい保育を行うと共に設備面での配慮もなされている。		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	(a)・b・c
〈コメント〉分かりやすいパンフレットを作成し、希望者には丁寧に説明し対応している。		
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	(a)・b・c
〈コメント〉保育に関する重要事項を記した文章を作成し、わかりやすく説明している。		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a・(b)・c
〈コメント〉開園後期間が浅いため、相談窓口迄は至っていない。		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a・(b)・c
〈コメント〉保育士一人ひとりの子供の実態を把握しているが保育園全体で満足度調査は行われていない。		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	(a)・b・c
〈コメント〉苦情解決の仕組みが整っており、経過と結果が記録されている。保護者が相談したり意見を述べたい時に体制が整っている。		

35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a・ <b>①</b> ・c
<p>〈コメント〉 送迎時等立ち話を聞く事はあるが、相談内容による相談方法や相談相手を選択する体制が整っていない。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・ <b>①</b> ・c
<p>〈コメント〉送迎時の対話や連絡ノートで意見や要望は把握しているが、組織的な対応がなされていない。</p>		
<p>Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。</p>		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・ <b>①</b> ・c
<p>〈コメント〉 マニュアルを作成して、研修や勉強会で学んでいる。「事故報告書」を作成して、DVDによる事故確認も行っている。事故要因の分析、改善策、再発防止策等の検討は全体会議等で話し合われている。責任者の選任・配置は無く、リスクマネジメントに関する委員会は設置されていない。リスクマネジメント体制の構築を期待します。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	<b>①</b> ・b・c
<p>〈コメント〉 マニュアルを作成し、勉強会で学んでいる。感染症の発生した時は玄関の掲示板にて保護者に知らせている。排泄物の処理等は全職員が熟知している。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的にやっている。	a・ <b>①</b> ・c
<p>〈コメント〉 毎月1回、マニュアルも基に避難訓練を行っている。消防署立ち合いの下、年2回避難訓練(消火訓練・通報訓練)を行っている。避難滑り台からの避難訓練も園児と共に実施している。現在、緊急時の保護者への連絡は「フェイスブック」と「よいこネット」を活用しているが早急に確実に連絡をつける方法(一斉送信メール等)を検討することを期待します。</p>		
40	Ⅲ-1-(5)-④ 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知している。	<b>①</b> ・b・c
<p>〈コメント〉 職員に「食中毒対応マニュアル」を周知している。調理師が食中毒に関する研修に参加し、職員に伝達研修を行っている。</p>		
41	Ⅲ-1-(5)-⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知している。	a・ <b>①</b> ・c
<p>〈コメント〉 職員は「対応マニュアル」を会議等で学んでいる。防犯カメラは各保育室・園庭・玄関・駐車場に設置されている。警察等との連携のもとでマニュアルに基づく職員に対する研修は行われていない。警察立ち合いの訓練をされることを期待します。現在玄関自動ドアが何時でも開閉できる状態になっているので、不審者対策の為にも玄関ドアのセキュリティ対策を検討されることが望まれます。</p>		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
42	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a・㉑・c
〈コメント〉「あそかの木保育園マニュアル」にて標準的の実施方法が文書化され保育が提供されている。しかし、標準的方法に基づいて実施されているかを確認する仕組みはない。		
43	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	㉑・b・c
〈コメント〉年度末の反省会や全体会議で見直しを行っている。年に1回保護者と個人面談をして意見や提案を聞いて見直しをしている。又、玄関に意見箱を設置し、意見に基づいて見直しをしている。		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
44	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a・㉑・c
〈コメント〉保育課程に基づいて、「年間指導計画」を作成している。個別に対応が必要な家庭や児童に対しては職員間で情報を共有し、関係機関との連携を図っている。保育所以外の関係者が参加しての合議はなされていない。		
45	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a・㉑・c
〈コメント〉月1回の全体会議や週1回のミーティングで話し合い、伝達事項の再確認をしながら評価・見直しをしている。指導計画の見直しにおいて、組織的な仕組みを定めて行うまでにはなっていない。		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
46	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	㉑・b・c
〈コメント〉入園時に保護者に「児童票」を提出してもらい、一人ひとりの園児の状態を把握している。成長記録を付け、職員間で情報を共有している。0～2歳児に対しては個別指導計画書を作成している。		
47	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a・㉑・c
〈コメント〉職員は入職時に「個人情報保護」について説明を受けているが、研修は行われていない。記録管理の責任者は園長か副園長となっている。「個人情報保護」については、繰り返し研修にて学んで行かれることが望まれます。		



評価対象A 実施する福祉サービスの内容

A-1 保育内容

		第三者評価結果
A-1-(1) 保育課程の編成		
A①	A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	Ⓐ・b・c
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
A②	A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	Ⓐ・b・c
A③	A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	Ⓐ・b・c
A④	A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	Ⓐ・b・c
A⑤	A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	Ⓐ・b・c
A⑥	A-1-(2)-⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	Ⓐ・b・c
A⑦	A-1-(2)-⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	Ⓐ・b・c
A⑧	A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開がされるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	Ⓐ・b・c
A⑨	A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・Ⓑ・c
A⑩	A-1-(2)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	Ⓐ・b・c
A⑪	A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a・Ⓑ・c
A-1-(3) 健康管理		
A⑫	A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	Ⓐ・b・c
A⑬	A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	Ⓐ・b・c
A⑭	A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け、適切な対応を行っている。	Ⓐ・b・c
A-1-(4) 食事		
A⑮	A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	Ⓐ・b・c
A⑯	A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	Ⓐ・b・c

特記事項

- 保育の特徴
  - ・異年齢児が一つのクラスを構成しているたてわり保育を実施している。0・1歳児クラス、1、2歳児クラス、(2クラス)、3・4・5歳児クラス(3クラス)となっている。年間指導計画はクラス別に作成されているが、その中に年齢別のよこわりの計画を細かく入れている。よこわり保育ではすべての保育士が関わるのでクラスの抱え込みがなく、すべての子どもとの関わりができていく。年少児は年長児の行動を見ながら基本的な生活習慣をみにつけ、又、年長児は年少児の面倒を見てあげようという意識を持ち共に成長し社会性や協調性、思いやりの気持ちを育んでいる。
  - ・0歳児から一貫して身近な自然に触れることを大切に、植物、生き物を感じることができる環境作りをしている。園庭の草むらで見つけてカエルや虫を飼育したり、畑やプランタンでは季節毎に種まき・苗植え等をして米・トウモロコシ・大豆等の食べ物やひょうたん、綿等の植物を栽培している。
  - ・4・5・6・10・11月には遠足があり、年長児はお泊り保育を体験する。
- 環境整備
  - ・「安全点検リスト」にて1ヶ月に1回責任者が点検している。責任者は改善策を考えたり修理が必要な場合は修理完了まで責任を負う。
  - ・各保育室は広く、園庭に面して明るい。ベランダを有効活用して使用できるスペースをより広くしている。
- 健康管理
  - ・児童票や連絡票にて健康状態に関して保護者から情報を得て職員間で情報を共有している。「年間保健計画」を作成している。内科検診・歯科検診を行っている。検査結果は連絡票に記入しているが見落とすとの保護者の意見もあるので別紙にする等連絡方法を検討することが望まれます。
  - ・アレルギー疾患に対しては、マニュアルを作成している。入園時に「食材確認表」にて、アレルギーのあるなしを調査している。担任から調理師へ毎月確認印を押して状況の把握・連絡をしながら連携している。
- 食事
  - ・食に関する豊かな経験が出来る様、保育計画に位置付けている。0歳児からキノコを室内で栽培し、3・4・5歳児のクラスでは味噌作りに挑戦し調理に利用している。調理師は「調理・給食年間計画」を立て「園で採れた食材を使い、子ども達とクッキングをする」「行事食など食材、メニューが意味する由来などを伝える」等食育に力を入れている。食材は日本産で手作りを基本として、冷凍食品や缶詰等を使用する等の「時短調理」はしないとしている。
  - ・保育参加日に保護者の給食試食会が行われている。

A-2 子育て支援

		第三者評価結果
A-2-(1) 家庭との緊密な連携		
A⑰	A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	Ⓐ・b・c
A-2-(2) 保護者等の支援		
A⑱	A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a・Ⓑ・c
A⑲	A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	Ⓐ・b・c

特記事項

○ 家庭との連携と保護者等の支援
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者とは登園時、降園時にコミュニケーションに努める他、個人面談を行い意見や要望を聞いている。「連絡ノート」は3歳児未満は毎日、3歳児以上は週2回は記入されている。保護者の行事参加は保育参加・運動会・生活発表会がある。行事参加の感想や意見、個人面談での内容は記録している。しかし、個人的に相談に応じた内容は記録に残していない。相談を受けた職員だけに情報がとどまることなく、情報を共有し、共に援助し、継続して支援して行くためにも記録として残されることが望まれます。</li> <li>・家庭での虐待等権利侵害については「虐待対応マニュアル」があり、年1回研修を行っている。日頃から子どもの表情や態度、身だしなみから虐待を受けていないかを判断、早期発見に努めている。虐待が疑われる場合は伝達ノートにて職員間で即、情報を共有し、子ども家庭課とも連携して対処するようにしている。保護者に対しては言葉かけ等をして相談にのるように努めている。</li> </ul>

A-3 保育の質の向上

		第三者評価結果
A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）		
A⑳	A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	Ⓐ・b・c

特記事項

<p>年2回の人事考課における自己評価による保育実践の振り返りを行っている。各自保育実践における自己評価に取り組んでいる。園長を含めた全職員に対して一人ひとりが評価をしている。保育士は園長との面談を通じて振り返りを行っている。職員の資質についても職員会議で行事や日常保育の振り返りを行う中で振り返りを行っている。</p>
--